



今回は、これまでの議員生活を通じ、皆さんからいただいたまちづくりに関するご要望と、それに関連する黒崎ゆういちの取り組み内容についてピックアップしました。皆さんが住むまちの課題を、ぜひ今後もお聞かせください。

黒崎ゆういちが掲げる6つの政策

「あなたが生き」
「あなたが育ち」
「みんなが繋がる」
港区をつくる!


- ・シニア世代が生きがいを持って生涯活躍できる場・機会をつくる
- ・多様性を尊重するハード・ソフトのバリアフリーを実現する
- ・1人1人の子供の強みを伸ばし、健全な子供たちを育成する機会を学校内外に作る
- ・子育て世代が安心して働き続けられる職住環境を整備する
- ・暮らす人が感動や一体感を味わえるアイデンティティを醸成する
- ・暮らす人・働く人・訪れる人・学ぶ人・港区内のすべての地域が繋がる拠点をつくる



港区にお住まいの皆さんにお聞きした まちづくりのご要望から


防犯カメラを増設して より安全なまちを実現してほしい

港区は都心にあり交通にも便利で、とても愛着を持って住んでいます。ただ、小さな子どももいるため近隣で不審者情報などがあると不安になります。安全なまちを維持するためにも、道路や公園に防犯カメラをもっと増設し、抑止力の強化をお願いします。(40代女性)

 公園や商店街への録画型の防犯カメラの設置は、関係各所に働きかけ、これまでも実現してきました。特にこの場所に設置を急ぎたいというご相談がありましたら、引き続き黒崎ゆういちまでご相談ください。ただ、街全体を巻き込んだ大規模な導入はプライバシー保護や運営コスト、蓄積される情報の管理もポイントになってきます。東京2020大会も控える中、民間を巻き込んだ解決策を安全なまちづくりという施策の中で引き続き探っていきたいと思います。

保育園の整備やバリアフリー化で“ライフ ステージのすべてを満たすまち”にしたい


港区には、ライフステージのすべてを満たすまちになってほしいです。孫世代で言えば、まだまだ保育園も待機児童がいるので解決してほしいですし、地元の子どもたちが地域の学校に通い続けられるよう、公立の小中一貫校も増やしてほしいです。また、高齢になっても地元に住み続けたいので、ぜひバリアフリー化された動きやすいまちにしてください。(60代女性)

 保育園の待機児童についてのご相談もたくさんいただきます。引き続き港区に要望を伝えるとともに、待機児童対策に全力で取り組みます。また、歩きづらい区道の改善や電柱の地下化などまちのバリアフリー化に関するご要望も多くいただき、関係部署へ働きかけるなどの調整も日々行っています。住民の皆さんが長く住み続けられる、ライフステージを満たすまちづくりを目指して今後も活動を続けます。



再開発で増える人々にコミュニティの 担い手になってほしい


高齢化が進み、コミュニティの担い手が少ない中で、お祭りや交通安全、消防団など住民に負担がかかっています。また、再開発の計画も持ち上がりませんが、それが地域に還元されるような流れがありません。屋間この地域に関わる方にも、コミュニティに関わっていただけるような仕組み作りをお願いします。(70代男性)

 どの地域においても、再開発には地域に還元するプランを組み込む必要があると考えます。例えばビルを建設する際には、地元のみこしを展示する場所を用意いただく事例もありました。大型の再開発で民間企業の独身寮や大学の学生寮を作る場合などは、住宅補助と消防団や高齢者の見守りを組み合わせるなど柔軟な取り組みも可能かもしれません。日々まちに通うワーカーの方にも地元に関わるような機会が増えるよう、今後も施策に組み込んでいきます。




朝のラッシュ時も地元の住民が 通りやすいよう調整してほしい

再開発で人の流れが変わり、地元の住民は朝のラッシュ時、オフィスビルに通勤するワーカーに逆流して駅の改札に進まなければならないようになりました。進むのが非常に困難なので、地元の住民もスムーズに通行できるよう、調整をお願いします。(30代男性)

 朝のラッシュ時の通行のしにくさは、さまざまな地区からご相談いただけます。既存の動線に影響しないよう事前に動線計画は作られるのですが、想定外の最短ルートなどができると混雑が起こる場合もあります。区から鉄道会社へ申し入れを行い、ひとつひとつ地域に沿った解決を進めていきます。



 港区では、再開発により発生する問題と、再開発で解決できる地域課題があります。港区の区議としては、開発側になかなか伝わりにくい住民の生の声や要望をできるだけ伝え、実現することも役割のひとつだと考えています。港区と住民、そして民間の間を取り持つ橋渡し役として、今後も全力で議員活動を進めます。